



令和5年11月15日

茅ヶ崎中学校だより 11月号

横浜市立茅ヶ崎中学校 校長 高山 俊哉
TEL. 941-0601 / FAX. 942-9216

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

校長 高山 俊哉

今、世の中では新しい学びのかたちとして「主体的・対話的で深い学び」が言われています。これは「学習のしかたとして、自ら主体的に学び、周囲の人や社会とつながりながら、昔の人が書き残したものなども参考にして学習することこそが、上っ面だけではない深い学びにつながっていきます。」ということを行っています。

なぜ、今、このようなことが言われているのか。日本は世界で共通に行なわれている学力テストの順位は比較的上位にいます。簡単に言えば「勉強ができる国」ということができるかと思います。しかし、以前より大きな問題が指摘されていました。

年配の方々を対象にした同様なテストではその順位がぐんと下がってしまいます。

一例では「太陽は地球の周りを回っている○か×か」のテストの結果は各国と比べても相当下位にあったということです。皆さんはもちろん「×」と答えることでしょう。

日本のお年寄りたちもかつては「×」とはっきり答えていたと思われます。

ではどうしてこのようなことが起こってしまうのでしょうか。それは、わが国ではこれまで教え込みで、知識を覚えることのみで力点が置かれすぎており、自ら進んで学んでこなかったために「後年、知識の剥落（はくらく＝はがれおちること）が起こる」ことが指摘されていました。このようなこともあり、学び方をもう一度考えてみようと言われるようになったのがこの「主体的・対話的で深い学び」です。題の「自ら学び～」はこの「主体的・対話的で深い学び」を皆さんの目線で言い直したもので、今、横浜の学び方の考え方を表すものとして広く使われているいわばキャッチフレーズです。

知識・技能を身に付けるだけでなく、それをどのように生かせるかもまた本当の学力です。「思考力・判断力・表現力」が重視されているのもこのためです。

ですが、この「主体的・対話的で深い学び」が大事であることはなにも学習に限ったことではないと思います。上から押し付けられて何かを無理にやらせられるのではなく、自ら主体的に考えてどうすれば今よりよくなるかを皆でコミュニケーションを取りながらやっていった方がずっと良い結果が出ます。

私の経験でも、それまでなかなか試合で結果をだすことができなかった部活動がやり方を変え、顧問の先生の教を参考にしつつも、メニューも、その日の練習の時間の使い方も、その振り返りも自分たちで行うようにした結果、翌年から信じられないほどの活躍を見せ、上位大会の常連校になった話をあちこちで聞きました。

是非「本当の学力」を身に付けましょう。

10/18(水)

個別支援学級 市合同体育祭

三ツ沢競技場で行われました。皆でお揃いのTシャツを着て、競技に参加し、大きな声で応援しました。3年生にとっては、最後の合同体育祭。青空の下、声援を受け、精一杯頑張りました。



10/20(金) 合唱コンクール

都筑公会堂にて学年ごとの開催となりました。「雲外蒼天～晴れわたる空に歌声を～」を目標に夏休み前から準備や練習を続け、当日はまさに、秋晴れの爽やかな日に行うことができました。



どのクラスも、これまで粘り強く練習してきた成果を発揮し、それぞれのクラスらしい発表になりました。1年生は初めての経験でしたがみんなで楽しく歌い、2年生は支え合うことの大切さを実感し、3年生は心がひとつにまとまり、力強く、素晴らしい合唱を演奏しました。

★演奏曲と結果

1年生	2年生	3年生
8組 地球星歌	7組 YELL	2組 YELL
○7組 旅立ちの時 ～Asian Dream Song～	5組 時の旅人	1組 桜の季節
5組 翼を広げて	6組 手紙 ～拝啓十五の君へ～	3組 はじまり
◎3組 COSMOS	2組 行き先	5組 友～旅立ちの時～
2組 伝えたい君に	○1組 虹色の未来	○6組 群青
1組 心の瞳	3組 空駆ける天馬	4組 大地讃頌
6組 HEIWAの鐘	◎4組 ほらね	○8組 足跡
○4組 大切なもの	○8組 あなたへ ～旅立ちに寄せるメッ セージ～	◎7組 信じる

★演奏順に記載

★最優秀賞は◎、優秀賞は○

10/23(月)

後期生徒会各種委員会認証式

先日の選挙で選ばれた生徒会役員の生徒達に認証状を渡し、生徒会の各種委員会も新メンバーでの活動が始まりました。

これまで全校生徒の声を聞き、生徒の代表として活動してくれた旧本部役員の皆さん、本当にありがとうございました。これからも「素直の花」「挑戦の花」「思いやりの花」を全校生徒で育て続けてください。



11/1(水)

学校保健委員会

「食生活とSDGs～身近にできることから考えよう～」をテーマに、全校生徒を対象に食生活に関するアンケートをとり、結果をまとめて発表しました。また、農林水産省の方々を講師にお迎えし、日本の食の現状や自分にできるSDGsの取り組みについてお話を伺いました。



保健委員の生徒たちは真剣に話を聞き、「自分事」としてSDGsに取り組もうとしていました。

10/24(火)

合唱訪問

3年生の最優秀賞・優秀賞に輝いた3クラスが、茅ヶ崎東小、茅ヶ崎台小を訪問して合唱を披露してきました。(茅ヶ崎小は感染症流行の状況により、残念ながら伺うことができませんでした。) 小学校の児童たちも中学生の歌声を興味深く熱心に聴いていました。



11/9(木)

授業参観・学級懇談会・進路説明会

4時間目に授業参観を行い、その後1, 2年生は学級懇談会、3年生は第2回進路説明会を行いました。授業参観では、保護者の皆様に生徒たちの様子を見守っていただき、学級懇談会では、学級でのお子様の様子や合唱コンクールの取り組みの様子などを各担任よりお伝えさせていただきました。第2回進路説明会では、進路決定に向けての日程や具体的な手続きについて進路指導主任及び学年主任よりお話をさせていただきました。中学校における進路指導は、単に高校進学のみを念頭においた進学指導ではなく、お子様が進む道を、様々な情報提供をさせていただきながら、生徒本人・保護者の皆さまとともに考えていくことだととらえております。生徒それぞれの自分らしい進路に向けて進めてまいります。

～医療費の給付制度について～

令和5年度8月1日からの横浜市小児医療費制度拡充に伴い、学校管理下におけるけがに対して病院を受診された場合の日本スポーツ振興センター災害給付制度についてお知らせいたします。

★学校管理下でのけがで医療機関を受診した場合、初診から治療が完了するまでの医療費の総額が500点(5,000円)以上である人が対象です。「横浜市小児医療費助成制度」は利用せず、この制度を利用して医療費の請求を行うようにしてください。

医療費の自己負担額(保険診療分3割)に1割加算され、4割給付されます。

※「横浜市小児医療費助成制度」を利用した場合

総医療費が500点(5,000円)以上の場合は、保険診療1割分について、日本スポーツ振興センターに請求することが可能です。ただし、申請書類の文書料は自己負担となるため、窓口での確認をよろしくお願いいたします。

今後の主な予定

11/15(水)	個別支援級区交流会
11/15(水)～17(金)	3年 後期中間テスト
11/16(木)～17(金)	1.年・2年 後期中間テスト
11/17(金)	2年 職場体験学習事前訪問
11/22(水)～23(木)	個別支援級合同宿泊学習会
11/29(水)	2年職場体験学習
11/30(木)	日中韓音楽交流会
12/ 4(月)～ 7(木)	個人面談

★月初めや連休明けなどに、給食の注文忘れ、昼食忘れが多いです。
ご家庭でもお子様と一緒に予定表の確認をお願いいたします。

